



東部の結果知って投票

スーパーチューズデーというのを存じだろうか。3月初めの火曜日(今年は3日)に、米国の民主党の大統領候補を決める選挙を行う州が集中するので、このように呼ばれる。その日にたまたま米国に来ており、当地で延々と続くスーパーチューズデーの報道を追いかける機会を持つことができた。

今年は大統領選挙が行われる年である。共和党の候補は現職の大統領であるトランプ氏だろうが、民主党の方の候補が誰になるのかということが当面の大きな注目点

伊藤 元重

学習院大教授(国際経済学)

スーパーチューズデーを終えて

となつてゐる。民主党は誰を候補とするのか州ごとに党員の投票をして、その投票結果を州ごとの数字で積み上げていく。これを予備選と呼ぶ。最終的に過半数の票を集めた候補が民主党の候補となる。ただし、少し複雑であるが、単純に州ごとの得票数を積み上げ

カロライナ州でバイデン候補が巻き返して来た。スーパーチューズデーでは総得票数の3分の1に匹敵する14州で予備選挙が行われるという、民主党の予備選の天王山である。だからその結果に世界中の注目が集まるのだ。今回、この予備選について驚く

るのではなく、それぞれの州での集票に応じて、州が持っている数の枠の割振りが行われる。説明が複雑になるのでここでは触れないことにする。

べきことに気づいた。私が滞在しているのは東部にあるジョージア州のアトランタである。西部のカリフォルニア州とは3時間の時差がある。テキサスとは1時間の時差がある。時差のある大票田であるテキサスやカリフォルニアでまだ投票が行われている時点で、投票がすでに終わった東部の州の出

口調査の結果が次々に発表されている。テキサスやカリフォルニアの人は東部の州の結果を知りながら投票することになる。

候補者の「勢い」に関心

そうした投票が公正かどうかは議論のあるところだ。民主党と共和党が激突する大統領の本選挙では時差が投票結果に影響を与えないような配慮がされるというから、時間差が起す妙な盛り上げは予備選ならではのものである。

分近い人が誰に投票するのかをこの数日で決めたいという結果も紹介されていた。今回はバイデン候補が多く州を押さえたので、彼のファーストネームをもじって、モイメンタムならぬジョーメンタムという表現を使ったコメントタームもいた。いずれにしても、予備選はバイデン候補とサンダース候補の間で一騎打ちの様相を呈してきた。国民の予備選への関心はこの1日ですらに高まってきた。今後も続く予備選、そして民主党と共和党の間で争われる本選挙などのような結果になるのか。これは米国の国民が今どのように考えているのかを知る良いチャンスでもある。読者の皆さんにも関心を持ってほしい。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。